

表2.研修カリキュラムに含まれる6つのコア戦略

項目	具体的内容
組織改革のためのリーダーシップ	隔離拘束の削減は、明確なリーダーシップと具体的なプランから始まる。
	そのプランは、隔離拘束の削減について、任務と原理を明確で効果的に表現しており、全スタッフの役割と責任が概説されているべきである。
	実行力のある管理者による「証言」は中心となる作用である。
	リーダーシップは、消費者や、家族メンバー、そして、隔離拘束削減の様々な面の提唱者を含むことを保証しなければならない。
データの使用	隔離拘束について、施設で収集されたデータは非刑罰的方法で使用され、病院や病棟間での健全な競争のために使用される。
	このデータはまた、隔離拘束使用となった全対象者に対する監督や情報を評価するために使用される
	ベースラインが決まった後、ユニットやシフト、日にち、スタッフメンバーによって隔離拘束使用の特徴分析にデータは使用される。
	これらのデータは懲戒処分のためには使用されない
院内スタッフ力の強化	政策や、手順、実践はリカバリーの原理とトラウマの情報に基づいたケアシステムに基づき、その中で、治療環境は築かれる。
	スタッフは、特定のハイリスクな対象のための、隔離拘束を減少させる方法を統合するというスキルを計画する個々の治療を実践し、発展させるための機会を得なければならない。
	管理者は、必要時、個人的な要求に対応する時、スタッフがそのルールや手順を「保留」することを許すという価値を理解する必要がある。
隔離拘束の使用の予防策	隔離拘束の減少は、多くの手段を含む。アセスメントツール、心的外傷の既往、ディエスカレーション、安全な計画や契約、物理的環境の創造的な変化、日々の有意義な治療行動 その限りではない
	どの手段も戦略も、個別の目的と目標をもっており、個人の状況に合わせて適切に用いられるものである。
入院施設での患者（医療消費者）の役割	消費者あるいは、リカバリーにある個人は、隔離拘束の減少を助けるために、組織の中で様々な役割に含まれるべきである。
	消費者の役割は、その重要性は、スタッフに明確にされなければならない。
	消費者は、自らの仕事をするための権限を与えられなければならない。ミスをすることや、更なる訓練を受けることも含む。
デブリーフィング	デブリーフィングの方法は、隔離拘束の分析から得られた知識に基づく。またこの知識の使用は、将来の隔離拘束の使用を避けるための政策や方法、実践を知らせる。
	第2のゴールは、その出来事を目撃者を含む、全ての隔離拘束の副作用を軽減させる試みである。
	これらの方法は2つの活動に分けられる。
	その事象が起こった後の早急なデブリーフィングと、数日後のもっと形式的なデブリーフィング。